

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		家族介護教室事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	佐藤 里佳
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実			所属班	高齢者保険班	(内線)	2114
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	介護保険法 合志市高齢者の家族介護支援実施要綱	
		30	11	2	5	10474		成果優先度評価結果 5 コスト削減優先度評価結果 -	
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続、向上を図る。 平成12年度より、地域ささえあい事業として開始。 旧合志町では行っていなかったが、旧西合志町で行っていたのですりあわせで合併後も行っている。 確実に地域住民の関心は高まり、高齢者を抱える家族の受講が毎年多くなってきており、定員オーバーする状況である。 事業に求められる内容が高度化してきている。 認知症に関する教室は、家族や不安を抱える高齢者にまで関心が高まっている。
【業務の流れ】	事業については、合志市社会福祉協議会に委託する。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	教室の回数、時間帯(夜間、休日)への配慮が求められる。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
社会福祉協議会が介護者を対象に介護の知識・技術を習得するため開催している教室の事業に対する委託料	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) 回
⇒ ア 教室の参加者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人
介護認定者や高齢者を介護している家族	⇒ ア 介護認定者や高齢者を介護している家族数
介護認定者や高齢者を介護している近隣の援助者	⇒ イ 介護認定者や高齢者を介護している援助者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人
介護認定者や高齢者を介護している家族、近隣の援助者が介護方法・介護予防の知識、技術が習得できる。	⇒ ア 介護方法・予防の知識を習得した人数
	⇒ イ 介護の技術を習得した人数
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	人			457	410	410	212	300	300	300
	イ	回			15	10	10	6	10	10	10
⑤ 対象指標	ア	人			1594	1650	1680	1831	1680	1680	1680
	イ	人									
⑥ 成果指標	ア	人			30	30	30	212	300	300	300
	イ	人			60	60	60	212	300	300	300
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	129	235	138	138	128	128	128
			都道府県支出金	千円	65	118	69	69	64	64	64
			地方債	千円							
			その他	千円	60	110	68	68	64	64	64
			繰入金	千円	66	117	68	68	64	64	64
			一般財源	千円							
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	320	580	343	343	320	320	320	
		(A)のうち指定経費	千円								
		(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費		正規職員従事人数	人	3	4	4	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	19	40	40	10	10	10	10	
		(B)人件費計	千円	75	160	159	40	40	40	40	
トータルコスト(A)+(B)				千円	395	740	502	383	360	360	

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0
0
0
0

合志市

事務事業名	家族介護教室事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☐ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 家族介護教室を他で実施している事業がない。	
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】	☐ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 開催場所を変更する場合は施設管理者の了解が必要である。																						